

7月号

吾孺二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孺第二中学校

令和8年7月17日

自分を見つめ、未来へ踏み出す夏に

校長 佐藤 順一

夏休みを目前に控え、校内では落ち着いた雰囲気の中にも、生徒の皆さんの生き生きとした姿が見られます。友達と声をかけ合いながら行事や委員会活動で役割を果たそうとする姿、そして「あいさつ」「時間を守ること」「みだしなみ」「言葉遣い」といった、人として大切な基本的な所作を丁寧に行う姿が、学校全体に温かい空気をつくっています。人とのつながりを大切にしながら生活している皆さんを、私は心から誇りに思っています。さて、学期のしめくくりとなるこの時期は、自分の学びを振り返る大切な機会でもあります。本校ではこれまで、皆さんが将来の自分を形づくる力として「見つめる力」「つながる力」「乗り越える力」「見通す力」の4つの力を育てることを目標に、各教科の学習、道徳、総合的な学習の時間、生徒会活動、宿泊行事や運動会など、さまざまな教育活動を行ってきました。これらはすべて、皆さんが自分の未来を主体的に切り開くための土台となるものです。

今回は「学習」について、この4つの力を改めて考えてみてほしいと思います。まずは「見つめる力」です。自分はどんな勉強が好きなのか、どんなことが得意で、どんなことが苦手なのか。頑張りたいと思っているのに、なかなか行動に移せない理由はどこにあるのか。良いところも課題も含めて、今の自分を丁寧に見つめることが大切です。自分を知ることが、すべての出発点になります。次に「乗り越える力」です。課題が見えたら、どうすればそれを乗り越えられるかを考えてみましょう。勉強の仕方を変える、時間の使い方を工夫する、目標を小さく分けて取り組むなど、方法はいくつもあります。しかし、時には自分一人では解決できないこともあるでしょう。そんなときこそ大切なのが「つながる力」です。家族、友達、先生方など、身近な人に相談し、支えを受けながら前に進むことは、皆さんが成長していくうえで欠かせない力です。そして最後に「見通す力」です。自分は将来どんな道を歩んでいきたいのか。どんな大人になりたいのか。まずは自分の気持ちを書き出してみてください。そこから「なりたい自分」を想像してみましょう。日々の学習は未来につながっています。決めたことを続けること、そして小さな一歩を積み重ねることが、未来の自分をつくれます。

夏休みは、自分を見つめ、つながり、乗り越え、未来を見通すための大切な時間です。ぜひ、この4つの力を意識しながら、新しい自分に出会う夏にしてほしいと願っています。(7月17日集会より)

☆野外体験学習（１年生）

7月5日（日）6日（月）と山梨県にあるミューの森へ野外体験学習へ行ってきました。実行委員の考えたスローガン「KeepSmiling〜輝け！絆！最高の思い出を〜」のもと、互いに協力し合い、充実した二日間を過ごすことができました。



☆TGG（２年生）

7月1日（水）2年生はTGG（TOKYO GLOBAL GATEWAY）に行ってきました。この日は普段の学校生活と違い、英語漬けの1日となりました。アクティビティが全て英語なので、始めはドキドキそわそわといった様子が見られましたが、終わってみるとたくさんの笑顔が見られました。これを機に、英語をさらに身近に感じて過ごして欲しいと思います。



☆道徳授業地区公開講座

7月10日（金）に道徳授業地区公開講座が行われました。第2部では堀 寿次様（日本ペップトーク普及協会）を講師としてお招きし、ペップトークについてご講演をいただきました。

多くの生徒が「ペップトークって何？」から始まりましたが、講演が終わったときには「今日習ったことを生活に生かしてみよう！」という気持ちをもっていました。以下、生徒の感想です。



今日の授業で、言葉の力や応援されてうれしい気持ちを改めて実感することができた。応援されるだけでなく、応援して人にやる気と力を与えられるような人になりたいと思った。

自分はネガティブな思考をもつことが多く、ポジティブな言葉をかけられても意味はないと思っていました。しかし、今日の講演を聞いて、励ましたり力を強くするポジティブな言葉を使っていこうと思いました。また、自分を励ますだけでなく、人を励ませるような、元気と感動を与えられるような人を目指したいと思いました。

前向きな言葉には、人の気持ちを元気にさせるすごいパワーがあると感じました。言葉一つで、自分の気持ちや生活は変えられるのだと気が付きました。

ペップトークという言葉は初めて聞いたから、専門的なことで難しいのかと思ったけど、話を聞いてみたら自分でもできるような簡単なことだった。なので家族にも伝えて、みんながペップトークについて知り、みんながいい気分になれるといいなと思った。